

日刊 印刷部 川崎文治



刊夕日十月九

定額 一前金貳錢 廣五號十二
 一ヶ月刊 一前金五錢 廣五號十二
 一ヶ月刊 一前金五錢 廣五號十二
 一ヶ月刊 一前金五錢 廣五號十二
 一ヶ月刊 一前金五錢 廣五號十二

支那の現在に遂に政治上に
 經濟上に救ふ可らざる不統
 一を曝露して、國家その
 ものが毫も一の体系をな
 て居らぬ、國家の各機關は
 各部分勝手な亂舞をやつて
 居て其間に何の統制もない
 梁啓超は支那は四千年の歴
 史をもつてゐるが未だ國民に
 ならないと穿つたことを
 云つてゐる、實際支那人のや
 つてゐることは何に就ても競
 技的氣分を脱しない、外交
 官にも軍閥にも此呼吸で言

動するを以て周囲がお祭氣
 分でワーツと騒げばそれで
 良い後は全く無責任である
 之が先づその一因だ、次に
 督軍の横暴と來ては話にな
 らない古來支那には陸官發
 財なる語のある如く彼等が
 官吏たることは一代の巧名
 を荷ふと共に又巨富を致す
 ことを意味する、ものゝ二
 三年も省長級の役を勤める
 と二三千萬圓は樂に私腹す
 ることが出来る中には七千
 萬元の蓄財をしたと傳へら
 る、若し省長と同等の地位に
 質上等だが兵を擁するが
 爲めに省長をも制して省財
 政を扼して軍を養ひ軍費に
 當てるを以て終ひには傍に
 人なきが如く省一切の政務
 を襲斷して居る、近來武人
 と政客との區別の判然しな
 くなつたことが確に中國の
 統一を困難ならしむる一因
 である、それに近來識者の
 最も恐れて居ることは列國
 の干渉である、政治にこれ
 軍事にこれ支那自身をして
 徹底せしむることこそ自ら
 を救ふ道だ等々の國の歴史
 も窮して初めて通ずるの事
 實を物語つて居るなまじ列
 國が干渉して支那をして不
 徹底に終らしむる事は益々
 以て支那の統一の遅延せし
 むる原因であらねばならぬ
 （をばり）

オチラ
 ラチオ家庭取付
 金三十五圓ヨリ
 電池附屬品修繕
 出張勉強御小賣
 東京土屋ラヂオ商會
 平出張所
 平町一
 シンガーミシン會社内

マキノ 關東社作品
 市川右太衛門主演
 連續 夜叉王 前篇
 時代劇 有聲座
 特別興行
 料金普通

九月十日替り
 小阪派作、小島陽三、潮み
 どり主演
 時代 夜の騎士 卷全
 活劇 夜叉王 卷全
 菅原派作、里見明、歌川八
 重子主演
 現代 怨の悲曲 卷全
 悲劇 怨の悲曲 卷全
 帝キオ菅原派作
 寵兒市川百々之助主演
 時代 松前五郎藏 卷全
 俠劇 松前五郎藏 卷全



常磐文藝
 別れ
 銅舟生
 細い障子の隙間から
 悲しい別れの風の歌
 ゆるゝランプのすすり泣き
 悲しい別れの風の背

貸家廣告
 一、停車場前旅館水道造作
 風呂附
 一、内郷村小島紳士向住宅
 八疊、六疊二間物置風呂
 場附一ヶ月金拾貳圓
 一、平劇場ワキ紳士向三間
 金十五圓
 一、同 勤人向金十圓
 一、同 仲町商店向金十圓
 一、同 勤人向金五圓
 一、同 同 金十圓
 一、北白銀町同金八圓半
加藤營業所
 白銀町 電話三二二番

酒 鶴仙
 石城郡平窪村
松吉屋本店
 電話二四二番

盛岡製南部鐵瓶
 眞正 御用ノ節ハ左ノ方法ヲ願ヒマス
 一、日掛金十錢ツ、……………(金七圓以内ノ品ハ)
 一、日掛金廿錢ツ、……………(金七圓以上ノ品ハ)
 ……月賦販賣モ致シマス

電話新設
 三六七番
簡易旅館藤田屋
 平町共濟病院前

賣れ行きが事實を證明する
 品質聲價共に拔群の!!
磐城セメント
 磐城セメント會社特約店
 和洋銅鐵 釜屋商店
 金物問屋 釜屋商店
 磐城平町五丁目 電話九番 一三九番
 △良品廉賣ヲ勝る商畧なし△
 △確實敏捷は釜屋の生命なり△

隣國漫談 (五)
 星野輝吉
 △無機体の支那
 支那の現在に遂に政治上に
 經濟上に救ふ可らざる不統
 一を曝露して、國家その
 ものが毫も一の体系をな
 て居らぬ、國家の各機關は
 各部分勝手な亂舞をやつて
 居て其間に何の統制もない
 梁啓超は支那は四千年の歴
 史をもつてゐるが未だ國民に
 ならないと穿つたことを
 云つてゐる、實際支那人のや
 つてゐることは何に就ても競
 技的氣分を脱しない、外交
 官にも軍閥にも此呼吸で言

露披築増
元支那料理
喜來軒
 近藤喜多治
 平町紺屋町(電五四五)
 女給二三名至急募集

萬泰瓦
 福島縣西会町
 萬泰瓦業株式會社
 電話三八

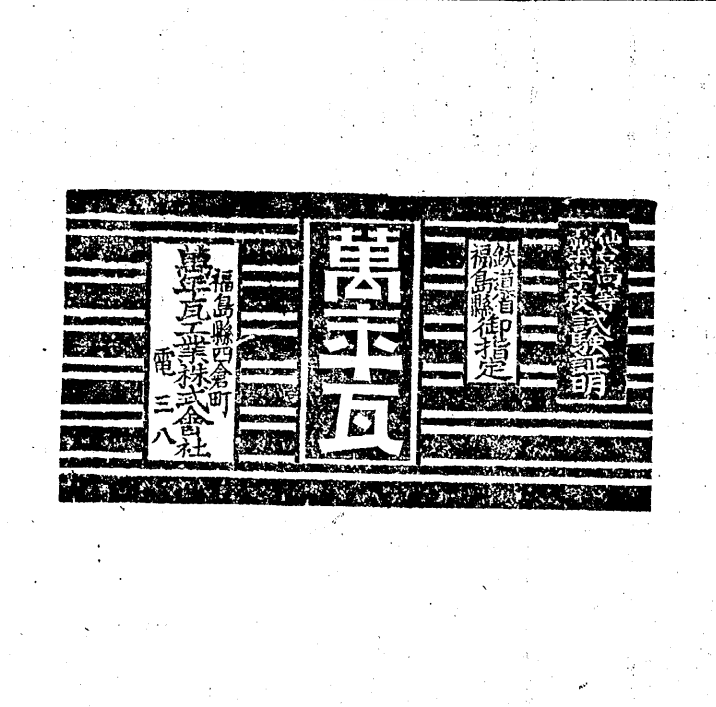
十字屋洋裝店
 平町田町停車場新通
 其他合着
 新型取揃
 平町紺屋町(縣社通り)
 美味 評判 味の王 平會堂
 オの部電話四六〇番

學生服
 大……八圓
 中……七圓半
 小……七圓
 其他合着
 新型取揃
 平町田町停車場新通

北陸電氣工業株式會社製
カーバイト
特約販賣
 福島縣平町壹丁目七番地
 合資 平銃砲火藥店
 電話四四一四番

正確な寒暖計と
体温計は親切第
一の山野邊藥
 局
 平町五丁目角

露披築増
元支那料理
喜來軒
 近藤喜多治
 平町紺屋町(電五四五)
 女給二三名至急募集



正確な寒暖計と
体温計は親切第
一の山野邊藥
 局
 平町五丁目角

正確な寒暖計と
体温計は親切第
一の山野邊藥
 局
 平町五丁目角

其筋を尻目に掛

神出鬼没の怪賊

「俺を掴えたらお天陽様が西から上る」と豪語し、一昨年来郡内を荒し廻り、遂に平署に捕る

住所不定田村郡御館村大字下坂字五百目生れ無職前科四犯松本卯之吉(四)は一昨年頃より石城郡好間、田人赤井、箕輪各村及び平町等に神出鬼没し或は

土藏を

線を盗み賭博を爲す等警察署を尻目につけ常に「俺を掴えたらお天陽様が西から上る」と豪語し犯行を働いて毎に巧みに行衛を働いて居たが遂に悪運盡きたか去る五日夜石城郡内郷村綴地内を徘徊中平署川上、菊地の

兩刑事

及び赤津巡査に協力逮捕され左記廿九件を白日に及んで本日検事局に押送された

△大正十三年十二月石城郡好間村下好間増子榮太郎方より現金九圓及び菓子五圓分△大正十四年三月平町白銀町旭湯にて衣類六點△同二月好間村某水車より白米三斗△同三月同村某水車より白米三斗現金六圓衣類三點△同六月同村飲食店某店△同七月同村衣類四點△同七月同村野菜屋にて賭博を爲す△同八月同村某米穀商より白米一斗現金五圓衣類一點△同九月同村人村竹林より竹六本△同上竹七本△同十月同村人村山早之助より白米三斗△同月警崎村藤原炭礦電話

常磐片々

怪賊捕はれても豪語通りに太陽西から上らず

平陽實科秋の收穫をバザーに飾つて新を競ふ、乙女達の丹精買はざるべからず

礦毒問題、農村氣の毒、炭礦辛い、ソコで當局當惑、三スクミの体と御座イ

二百廿日の難所も無事、これでも越れたこれから米價の下り坂

本紙の天氣豫報毎日適中評判よろし、お禮は測候所へ

設以來とかく豫期の成績を見る事が出来ぬのでこの際更始一新の計畫を樹立すべく過般事務理事の改選を行ひ從來の遠藤米作氏に代つて山崎庫太郎氏就任した

薄氣味悪い今日の

二百二十日も無事

小名濱測候所の觀測

一年中の大荒れ日として二百二十日と共に一般農家から警戒される二百廿日は本日であるが今の處では別段平日と變りがなく

無事な

二百廿日

濟みさうであるが小名濱測候所の觀測を聞くに本日は全國一般に薄雲りで朝鮮滿州方面が晴れて居り僅に千島方面の一部に小雨が降つて居る、午前十時頃から突如台灣西部に風速七百四十ミリの颶風が現れ目下支那中部方面に移動中であるが此の進路が變動すれば四國九州等の一部は

暴れを

見る事であらう、彼は絶対に安心と云



家庭欄

ス井トボテト

薩摩芋を先づよく水で洗ひランビの上下段共に入れて丸焼きとし、度々手で廻しよく芋が焼けるのを待つて

簿をはじめ、當務者亦事務精通の適任者を以てし今後組合として優秀の成績を収むべく期待するに足る新陣容がなり立つたので關係者一同喜んでゐる

平陽バザー

點數三千餘

平町極道小路平陽實科女學校にては十四五の兩日縣社八幡神社の祭禮をトし午前八時より午後十時迄バザーを開く筈にて、其種類左記の如く點數實に三千餘點の多きに及んで居る

品評會で

梨を即賣

廿一二の兩日

石城郡平窪赤井小川大野錦各村生産の梨は從來僅に生産地々方にのみ消費されてゐたが最近では東京大阪北海道方面に移出され相當廉價を博し最近では主要副業とされてゐるので石城郡農會では梨果の品質向上と出荷販賣方法の改善を講ずる目的で来る廿一、二の兩日元郡會議室に梨果品評會を開催し出陳物を即賣に降する筈であるが出品一品二箱

天氣豫報

(十) 南西の風、(日) 曇り一時晴れ

教員檢定

平第一校にて

本縣小學校教員檢定試験は十三日より六日間平第一小學校に於て執行される筈であるが志願者は左記百八十五名である

高正廿二名、尋正廿九名、尋準五十四名、專正七十九名、保母一名

農村も氣の毒

炭礦も辛い

内郷礦毒問題

監督局の意嚮

内郷村の礦毒問題は村民側の鼻息が荒く漸次悪化の様あるが右に就て仙臺鑛山監督局の意嚮を叩けば「今回の内郷鑛毒問題は鑛城炭鑛の排水を下流農民が水田に利用した結果約百五十町歩の稻田が全く枯死し無收穫状態となつたので地方農民が之に憤慨して鑛城炭鑛を相手取つて損害賠償の訴訟を提起せん」と云ふにあるが之を中立的態度にて見れば農民としては鑛毒被害は

大相撲期日

十二三日に變更

東京大相撲常の花一行は十二、三日の兩日平町南埋立地

畫食中

炭車飛び來り

衝突して慘死

石城郡内郷村大字宮字平太郎居住岩瀬郡濱田村生れ鑛城炭礦信越手山本政一(二)は八日午後一時頃全炭礦斜坑第一本坑にて畫食中突然炭車疾走し來り衝突重傷を負へ死亡し平署七海部長檢視した

勞働問題研究

日本勞働同盟盟警城炭礦支部では十二日警會が發會式を擧げるのでその對策として全村大字高坂事務所内に全日午前十時より勞働問題研究會を開く

兔の耳

音樂は足の骨で快感を印象傳達する

スミス氏の科學者へブリー氏は音樂を聞いて感する快感を印象しそれを傳達する神經中樞は足にあるといふ珍説を發表した足の何所にあるかといへば五本の蹠骨(趾骨と果骨の間の骨)の屈曲點の直下にあるといふに氏はまた音樂の旋律に反應する神經も第一趾骨のすぐ下にありと稱し我々が音樂を聞いて無意識に足で調子を打つてゐるが併し氏は新説の論據については何も説明してゐない